

自動的な省エネルギー化





www.faronics.com



最新更新日:2015年8月

© 1999 - 2015 Faronics Corporation.All rights reserved. Faronics、Deep Freeze、Faronics Core Console、Faronics Anti-Executable、Faronics Data Igloo、Faronics Device Filter、Faronics Power Save、Faronics Insight、Faronics System Profiler、WINSelect は、Faronics Corporationの商標および / または登録商標です。その他すべての会社名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。



目次

Power Save
重要な情報
テクニカルサポート
用語の定義
はじめに
Power Save の概要. 12 Power Save について. 12 Faronics Core について 12 システム要件. 13 Power Save 要件. 13 Faronics Core の要件. 13
Power Save のインストール 15
インストール概要
Power Save Loadin のインストール 17 Faronics Core ユーザーインターフェイスのコンポーネント 20
Core Console を使ったワークステーションでの Power Save のインストールまたはアップグレード 23
ワークステーション上での Power Save の手動インストール
Core Console を使った Power Save ライセンスの適用
Power Save へのアクセス
概要
Core Console からの Power Save へのアクセス
Core Console $\mathcal{O}[\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\exists\mathcal{V}]$ ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\exists\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{V}$) ($\mathcal{V}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}O$
Derver Seve A部中
Power Save の設定
概要
Power Save ポリシー
電源スケジュールの追加または編集
Power Save アラート
ワークステーションでの Power Save の手動設定
電源スケジュールの設定
詳細オプション



Power Save レポート	;
Power Save レポートの作成	1
フルオペレーションレポート	5
Audit Only レポート	7
システム稼働レポート)
Power Save レポートのエクスポート、印刷、電子メール送信	L
エクスポート	L
印刷	Ĺ
電士メール	L 1
	-
コマンドラインコントロール	\$
コマンドラインコントロール 63 コマンドラインコントロール 64	} 1
コマンドラインコントロール 63 コマンドラインコントロール	B 1 1
コマンドラインコントロール 63 コマンドラインコントロール 64 コマンドラインの例: 64 コマンドラインパラメータを使用したインストール 64	3 1 1 1
コマンドラインコントロール. 64 コマンドラインの例: 64 コマンドラインの例: 64 コマンドラインパラメータを使用したインストール. 64 コマンドラインパラメータを使用したインストール. 64 コマンドラインエラー. 65	3 1 1 5
コマンドラインコントロール 63 コマンドラインコントロール 64 コマンドラインの例: 64 コマンドラインパラメータを使用したインストール 64 コマンドラインエラー 64 コマンドラインエラー 65	3 1 1 1 5
コマンドラインコントロール 63 コマンドラインの例: 64 コマンドラインパラメータを使用したインストール 64 コマンドラインエラー 65 Power Save のアンインストール 67	3 1 1 1 5 ,
コマンドラインコントロール. 64 コマンドラインの例: 64 コマンドラインの例: 64 コマンドラインパラメータを使用したインストール. 64 コマンドラインパラメータを使用したインストール. 64 コマンドラインエラー. 64 ロマンドラインパラメータを使用したインストール. 64 コマンドラインエラー. 65 Power Save のアンインストール 67 [プログラムの追加と削除]を使った Power Save Loadin のアンインストール. 68	B 1 1 1 5 , 3
コマンドラインコントロール 63 コマンドラインコントロール. 64 コマンドラインの例: 64 コマンドラインパラメータを使用したインストール. 64 コマンドラインエラー. 64 コマンドラインエラー. 65 Power Save のアンインストール 67 [プログラムの追加と削除]を使った Power Save Loadin のアンインストール. 68 Core Console を使ったワークステーションでの Power Save のアンインストール. 69	₿ 1 1 1 5 ₽ 3 }
コマンドラインコントロール 63 コマンドラインコントロール. 64 コマンドラインの例: 64 コマンドラインパラメータを使用したインストール. 64 コマンドラインパラメータを使用したインストール. 64 コマンドラインエラー. 65 Power Save のアンインストール 67 [プログラムの追加と削除]を使った Power Save Loadin のアンインストール. 68 Core Console を使ったワークステーションでの Power Save のアンインストール. 69 アンインストールウィザードを使ったワークステーション上でのアンインストール. 70	3 1 1 1 5 7 3)



Power Save

システムリソースが必要な場合、ワークステーションが利用可能であることを保証しながら、不 稼動時間での節電を行うために、Power Save により高度な電力管理が可能になります。

トピック

重要な情報 テクニカルサポート 用語の定義



重要な情報

このセクションにはお客様の Faronics 製品についての重要な情報が記載されています。

Faronics について

Faronics は、複雑な IT 環境の管理を容易にし、セキュリティを確保する、業界屈指のソリューションをお届けしています。Faronics の製品は、システムの可用性を 100 パーセント確保する ことで、多くの情報技術専門家の日常業務を劇的に改善しました。学校施設をはじめ、医療機 関、図書館、政府組織、または法人企業で Faronics の顧客中心の取り組みによるパワフルな革 新的テクノロジーを有効にご利用いただいています。

製品マニュアル

Faronics Power Save のマニュアルは、次のマニュアルで構成されています:

- Faronics Power Save ユーザーガイド このマニュアルでは製品の使用方法を説明します。
- Faronics Power Save リリース ノート このドキュメントには新しい機能、既知の問題、解 決された問題が記載されています。
- Faronics Power Save readme.txt このドキュメントではインストールプロセスを説明します。
- Faronics Power Save Dashboard テクニカルペーパー Faronics Power Save Dashboard は Faronics Power Save と連携して、実際の節電と可能な節電に関するウェブベースのレポー トをオンデマンドで提供します。この文書では、Faronics Power Save Dashboard をインス トール、設定、使用する方法について説明します。

2

テクニカルサポート

当社では、使いやすく、問題のないソフトウェアを設計するためにあらゆる努力を重ねていま す。万が一、問題が発生した場合は、テクニカルサポートまでご連絡ください。

電子メール :support@faronics.com 電話番号 :800-943-6422 または 1-604-637-3333 営業時間 :午前7時から午後5時(太平洋標準時刻)

お問い合わせ

- Web:www.faronics.com
- 電子メール :sales@faronics.com
- 電話番号:800-943-6422 または1-604-637-3333
- ファックス:800-943-6422 または1-604-637-8188
- ・ 営業時間:午前7時から午後5時(太平洋標準時刻)
- 住所:Faronics Technologies USA Inc.
 5506 Sunol Blvd., Suite 202
 Pleasanton, CA 94566
 USA

Faronics Corporation 609 Granville St., Suite 1400 Vancouver, BC V7Y 1G5 Canada

Faronics Corporation ($\exists - \Box \gamma \gamma^{3}$) Siena Court The Broadway Maidenhead Berkshire, SL6 1NJ UK



用語の定義

用語	
アクションペイ ン	Core Console で、ワークステーションのオプションの設定、シャットダウン、Wake-on-LAN などの操作が表示される部分です。
コンソールツ リーペイン	Core Console のプロパティ、ワークステーションとグループ、スケジュー ル設定されたタスク、作成したレポートが表示されます。
コンテキストメ ニュー	1 台以上のワークステーションを選択して右クリックすると、このコンテ キストメニューが表示されます。このメニューによって、Power Save の機 能を利用することができます。
Core Console	Core Server とワークステーションを管理してモニターするために使用す るユーザーインターフェイスです。
Core Database	ワークステーションリストが保存されているデータベースです。
Core Server	Core Server では、ワークステーションの管理、タスクの処理、 Core Console とワークステーションの通信が行われます。
Faronics Core	Faronics Core は、Core Server、Core Console、Core Database、Core Agent で構成されます。
非アクティビ ティ定義	ワークステーションを非アクティブにする要因を定義します。キーボード およびマウスが使用されない場合、および次のいずれかのパラメータによ りワークステーションは非アクティブになります。
	 ディスク使用率-ユーザーが定義するディスク(ハードドライブ)の使用率。実際のディスク使用率が定義した値より低い場合、ワークステーションは非アクティブであるとみなされ、節電が行われます。
	• CPU 使用率 - ユーザーが定義する CPU 使用率。実際の CPU 使用率が定 義した値より低い場合、ワークステーションは非アクティブであると みなされ、節電が行われます。
	 ネットワークアクティビティ - ユーザーが定義するネットワークアク ティビティ。実際のネットワークアクティビティが定義した値より低 い場合、ワークステーションは非アクティブであるとみなされ、節電 が行われます。
	 実行中のアプリケーション - ユーザーが定義するアプリケーションリスト。ユーザー定義リストにあるアプリケーションが実行中でない場合、ワークステーションは非アクティブであるとみなされ、節電が行われます。



用語	定義
非アクティビ ティタイムアウ	ワークステーションが非アクティブになったとき、Power Save により実行 される操作。次のものがあります。
トアクション	 モニターの電源オフ
	 スタンバイ-シャットダウンの直前の作業状態をメモリーに保存し、オペレーティングシステムをサスペンド状態にしておくモード。
	 休止 - コンピュータの電源を切る直前の作業状態をハードディスクに 保存し、オペレーティングシステムをサスペンド状態にしておくモー ド。
	 シャットダウン
ローカルウェイ クアップ	この機能により、Wake-on-LAN 技術(またはネットワーク接続)を使用 せずに、スタンバイまたは休止モードになっているコンピュータをローカ ルでウェイクできます。
MSI (Microsoft インストーラ)	.msi ファイルは Windows 標準のインストールパッケージです。Power Save ワークステーションファイルをインストールするために使用します。
電源スケジュー ル	電源スケジュールは1つ以上の Power Save 設定で構成できます。これには、1台以上のコンピュータの設定を適用するスケジュールも含まれます。
電源設定	電源設定には次のものがあります。
	 非アクティビティタイムアウトアクション - 事前に定義された時間が 経過したら、Power Save によって、モニターとハードディスクの電源 を切り、コンピュータをシャットダウンするかどうかを定義します。
	 非アクティビティ定義 - ハードディスク、CPU、またはネットワークのアクティビティが定義されたレベルを下回る場合、Power Save によりコンピュータの電源管理を行うかどうかを定義します。
Power Save Loadin	Power Save 専用のコマンドとステータスで、Core Consoleの基本機能を 拡張するソフトウェアライブラリ。
スケジュール設 定	Windows のスケジュール設定に基づくプロセスで、タスクが実行される 日時を設定。
連続起動	指定した期間中に Power Save がコンピュータの電源を管理しないように します。
タスク	新規設定の適用、シャットダウン、Power Save ワークステーションの起動 といった、1 台または複数のワークステーションに適用される Power Save の操作。
Wake-on-LAN	ワークステーションのリモート起動を可能にするハードウェア。
ワークステー ションリスト	Core Server にレポートしたすべてのワークステーションのリスト。この リストは Core Console を使って表示されます。また、リストにはワークス テーション固有の情報を含む列も表示されます。

10 Power Save





はじめに

本章では、Faronics Power Save の概要とシステム要件について説明します。

トピック

Power Save の概要 システム要件



Power Save の概要

Power Save について

Faronics Power Save は、ユーザーや IT 担当者のニーズに影響を与えることなく、PC の電源管 理を行います。Power Save はユーザーが必要とする間はコンピュータを稼働状態に保ち、コン ピュータが非アクティブになると、それを正確に判断して電源を停止します。また、ネット ワーク全体の消費電力および節約を示すレポートにより、投資が迅速に回収されることを確認 できます。

Power Save の PC 電源管理は他の作業を妨害せず、CPU、ディスク、キーボード、マウス、 ネットワーク、さらにアプリケーションの状態を分析した上で、コンピュータの電源管理操作 を行います。Power Save には Windows 版と Mac 版があります。Power Save がインストールさ れているコンピュータ1台につき、年間で平均 \$50 節約できることから、Power Save はデスク トップ PC およびノート PC のための優れた PC 電源管理ソフトウェアソリューションであると 言えます。

Faronics Core について

Faronics Core は、複数の Faronics 製品を管理するための、軽量で高性能、安全かつ習得し易い、統合されたフレームワークです。これは、表示、管理、インストール、更新、ワークステーションとサーバーの保護を1つのコンソールから行う、信頼性が高く一貫性のある方法を提供しています。Faronics 製品の完全な管理ソリューションによって、組織の効率性を高めることができます。



システム要件

Power Save 要件

Power Save Loadin には、Faronics Core が必要です。

Power Save ワークステーションコンピュータには、次のオペレーティングシステムが必要です。

- Windows XP SP3 (32 ビット版) または Windows XP SP2 (64 ビット版)
- Windows Vista (32 ビット版または 64 ビット版)
- Windows 7 (32 ビット版または 64 ビット版)
- Windows 8 (32 ビット版または 64 ビット版)

どのコンポーネントのインストールも、Windows の管理者アカウントから行うようにしてください。

Faronics Coreの要件

Faronics Core 3.2 以降が必要です。Faronics Core のシステム要件については、『Faronics Core ユーザーガイド』を参照してください。最新のユーザーガイドは、 http://www.faronics.com/library からダウンロードできます。 14 はじめに





Power Save のインストール

本章では、Power Save のインストールについて説明します。

トピック

インストール概要 Power Save Loadin のインストール Core Console を使ったワークステーションでの Power Save のインストールまたはアップグ レード ワークステーション上での Power Save の手動インストール Core Console を使った Power Save ライセンスの適用



インストール概要

Power Save をインストールして設定するには、次の手順が必要です。

- Faronics Core のインストール、およびワークステーションエージェントインストーラの作成 と配備
- Power Save Loadin のインストール
- Power Save の配備

Faronics Core のインストール

Faronics Core のインストールおよび Core Agent インストーラの作成と配備に関する詳細は、 『Faronics Core ユーザーガイド』を参照してください。最新のユーザーガイドは、 http://www.faronics.com/library からダウンロードできます。



Power Save Loadin のインストール

Power Save Loadin は、**PowerSaveLoadin.exe** ファイルを使って、**Faronics Core Console** にイン ストールします。**Power Save Loadin** は、**Faronics Core** がインストールされていないシステムに インストールすることはできません。

Power Save Loadin をインストールするには、次の手順を実行します。

 PowerSaveLoadin.exe ファイルをダブルクリックして、インストールプロセスを開始します。 [次へ]をクリックして、続行します。

🐺 Faronics Power Save Loadin - InstallShield Wizard 🛛 🔀				
	Faronics Power Save Loadin用のInstallShield ウィザードへ ようこそ			
POWERSAVE	InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ Faronics Power Save Loadin をインストールします。「次へ」をクリックし て、統行してください。			
	警告: このプログラムは、著作権法および国際協定によって保護 されています。			
www.faronics.com	バージョン 4.50.3220.772			
< 戻る(B) (次へ(N)>) キャンセル				

2. 使用許諾契約書を読み、同意します。[次へ]をクリックして、続行します。

Faronics Power Save Loadin - InstallShield	Wizard	×
使用許諾契約 次の使用許諾契約書を注意深くお読みください。		1
Power Save Loadin - ライセンス		
Faronics Corporation Copyright 1999-2012 All Rights Reserved		
マスター ソフトウェア ライセンス契約		
ライセンスの許諾:Faronics はこの契約により、ライセン をインストールまたは使用、アクセス、表示、実行、その他情 定かつ非地占ライセンスを評諾します。いかなる場合もライイ 受けたコンピュータの公断を載える勤のコンピュータトでの1	ノス被許諾者にコンピュータ」 報交換を行う (以下「使用」) センス被許諾者は上記のライ 新副品の使用を許可されたい	とで本製品 と記す)限 センスを まのとL ≠ ▼
 使用許諾契約の条項に同意します(A) 		
○ 使用許諾契約の条項に同意しません(D) nstallShield	バージョン 4.50.3 2	20.772
< 戻る(<u>B</u>)	次へ(<u>N</u>) >	キャンセル

3. [ユーザー名]、[所属]、[ライセンスキー]を入力します。ライセンスキーがない場合、[評価版を使用]チェックボックスを選択してください。Power Save の評価版は 30 日間で有 効期限が切れます。Power Save をすでに購入されている場合、www.faronicslabs.com にログ インして、ライセンスキーを入手できます。[次へ]をクリックして、続行します。



Faronics Power ユーザ情報 情報を入力してくださ(Save Loadin – InstallShield Wizard
フーザ名(1):	Windows 7 - 4f-
所属(0):	
ライセンスキー:	
	評価版を使用 (30日間)(E)
stallShield	バージョン 4.50.3220.772
	< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) キャンセル

4. デフォルトの場所は、C:\Program Files\Faronics\Faronics Core 3\Loadins\Power Save で す。[次へ]をクリックします。

🙀 Faronic	s Power Save Loadin – InstallShield Wizard 🛛 🛛 🗙	I
インスト このフォルら	ー ル先のフォルダ にインストールする場合は、「次へ」をクリックしてください。	
	Faronics Power Save Loadin のインストール先: C:#Program Files (x86)#Faronics#Faronics Core 3¥Loadins#Power Save¥	
InstallShield .	バージョン 4.50.3220.772	
	< 戻る(<u>B</u>) (<u>次へ(N)</u> キャンセル	

5. [インストール]をクリックして、インストールを開始します。



뤻 Faronics Power Save Loadin - InstallShield Wizard	×
プログラムをインストールする準備ができました ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。	
「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。	
インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャ リックすると、ウィザードを終了します。	ンセル」をク
バージョン 4.50.32 InstaliShield	20.772 キャンセル

6. Faronics Core Server を再起動するには、[はい]をクリックします。Faronics Core Server を 後で再起動するには、[いいえ]をクリックします。

🙀 Faroni	cs Power Save Loadin - InstallShield Wizard 📃 🗙				
<u>.</u>	インストールを正常に終了するには、Faronics Core Serverサー ビスを再起動する必要があります。				
	Faronics Core Serverサービスを再起動すると、有効なセッショ ンの接続がすべて切断されます。今これを行いますか?				
	Faronics Core Serverサービスを今再起動するには、「はい」を 選択します。				
	Faronics Core Serverサービスを後で手動で再起動するには、 「いいえ」を選択します。				
InstallShiel	(<u>ぱい(Y)</u> いいえ(<u>N</u>)				

7. [完了]をクリックして、インストールを終了します。



Loadin のインストールが正常に行われると、1台以上のワークステーションを選択した際に、 Core Console の[アクション]ペインに Power Save 特有の機能が表示されます。Power Save の 機能は、1台以上のワークステーションを選択して、右クリックすると表示されるコンテキスト メニューから使用することもできます。



· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1. カコニ、シュンジック、 だた ロ、カコニ、 .	St. N. ND	
UPraronics Core Console - [Faronics Co ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	re Console‡localnost(Aumin)‡)	/-////-/+/+/+//////////////////////////	y∃}≢rower save]	
♦ ♦ 2 🖬 😹 2 🖬				
Faronics Core Console	Power Save 1ワークステーション	/(1が選択されました)		操作
 	ワークステーション	ステータス アクティブタスク	/X~	Power Save 🔺 📥
□ 🔽 マネージド ワークステーション	WIN7Jap	オンライン	3.70	🧐 エネルギー消費プロフィールの
Power Save				🧐 新規ポリシー
🗉 🌄 検出されたワークステーション				🧆 Power Saveモード 🔹 🕨
 田 覇田 カスタム ワークステーション グループ 田 岡 タスク 				🌮 ポリシーを再びアサイン
E 🛕 アラート				🌆 プロフィールの適用
レポート				💭 Power Save クライアントのイン
				🌐 Power Save クライアントのアン
				闘 その他のアクション…・・・
				🔒 レポートの生成 🔹 ▶
				プロパティ
				表示 🕨
				る 最新の情報に更新
				📑 一覧のエクスポート
				11.7 🕨
				WIN7Jap

次の画面は、Power Save Loadin がインストールされた状態を示しています。

Faronics Core ユーザーインターフェイスのコンポーネント

Core Console は Core Server のユーザーインターフェイスです。Core Console には次のユーザー インターフェイスコンポーネントが表示されます。

タスクアクティビティ
 2
 注動
 再起動
 第
 シャットダウン

コンソールツリーペイン

Core Console ノードには複数の Core Server ノードを持たせることができます。Core Server ノードの下に、[ワークステーション]、[タスク]、[レポート]のコンポーネントがあります。 これらのノードの1つをクリックすると、[結果]ペインで表示される情報が変わります。

[アクション]ペイン

[アクション]ペインのアクションは選択したワークステーションに適用され、1台以上のワー クステーションが選択されている場合にのみ表示されます。この[アクション]ペインは、右ク リックのコンテキストメニューと同じものです。

[Core Console プロパティ] ダイアログ

[Core Console プロパティ]ダイアログは、コンソールツリーペインの [Core Console] アイコン を右クリックして、[プロパティ]を選択するとアクセスできます。



[Core Server プロパティ] ダイアログ

[Core Server プロパティ]ダイアログは、コンソールツリーペインの[Core Server 接続]アイコ ンを右クリックして、[プロパティ]を選択するとアクセスできます。このダイアログには Loadin 専用のタブが表示されます。

コンソールツリーペイン

コンソールツリーペインには次のノードがあります。

- Core Console これはルートノードです。
- Core Server 複数のサーバーノードが可能です。

Core Server では、ワークステーションの管理、タスクの処理、Core Console とワークステー ションの通信が行われます。Core Console と Core Server の各接続に対して1つの Core Server ノードがあります。

• ワークステーション - Core Server 1 台に対して 1 台あります。

ワークステーションノードの下には、マネージドワークステーション、検出されたワークス テーション、およびカスタムワークステーショングループの3つのサブノードがあります。 カスタムワークステーショングループノードでは、ワークステーションのカスタムグループ を作成し、表示することができます。

• タスク - Core Server 1 台に対して 1 つあります。

[タスク]ノードには、すべての Server タスクの現在の状態が表示されます。タスクは、1 台以上のワークステーションに適用されるアクションとして定義されます。[タスク]ノー ドを展開すると、タスクの状態を示す3つのサブノードが表示されます。[スケジュール設 定済み]ノードには、将来実行する予定のタスクが表示されます。[有効]ノードには、現在 処理されているタスクが表示されます。[履歴]ノードには、すでに完了したタスクが表示 されます。特定の日付より古いタスクは、自動的に削除されます。これは、[Core Server プ ロパティ]ダイアログの[サーバー]タブで設定することができます。

レポート - ルートノードの下にあります。

Core Console には **Product Loadin** によって作成されたレポートが表示されます。**Loadin** が インストールされていないと、レポートは作成されません。

LDAP グループ

ディレクトリサーバーで定義済みのワークステーショングループを使用することができます。 LDAP を介して検出されたワークステーションに Core Agent がインストールされると、その ワークステーションは LDAP グループノードを介して直接管理することができます。これらの ワークステーションをカスタムグループに追加することもできます。

カスタムワークステーショングループ

Windows 標準のクリップボード機能を使って、ワークステーションをカスタムグループに追加 できます。ワークステーションを切り取りまたはコピーして、グループの中に貼り付け(ドラッ グ&ドロップ)します。グループを作成するには、[カスタムワークステーショングループ]ア イコンを右クリックして、[サブグループの作成]を選択します。[動的フィルタ]を追加するか 編集して、グループアクションを実行することもできます。



ワークステーションリストとタスクは Core Server に保存されますが、レポート は Core Console がインストールされたコンピュータにローカルで保存されます。



Faronics Core のシステム要件については、『Faronics Core ユーザーガイド』を参照してください。最新のユーザーガイドは、http://www.faronics.com/library からダウンロードできます。





Core Console から Power Save をインストールまたはアップグレードすることで、Power Save を 配備することができます。

Faronics Core の一部である Core Agent が、Power Save によって管理されるワークステーション 上にインストールされていなければなりません。ワークステーションエージェントインストーラ のインストールに関する詳細は、『Faronics Core ユーザーガイド』を参照してください。最新の ユーザーガイドは、http://www.faronics.com/library からダウンロードできます。

Core Agent がインストールされると、ネットワーク上でワークステーションが検出され、Core Console に表示されます。この時点で、ワークステーションに Power Save をインストールする か、アップグレードすることができます。

Power Save をインストールまたはアップグレードするには、1 台以上のワークステーションを選択し、右側のペインにある [ワークステーションの構成]をクリックし、[詳細]>[Power Save クライアントのインストール / アップグレード]を選択します。



インストールが正常に終了すると、ワークステーションが再起動します。Power Save には再起動を抑制するオプションがあります。再起動を抑制すると、 Power Save はワークステーションが再起動するまで動作しません。



Loadin が1つ以上インストールされている場合、ワークステーションを右ク リックして、Power Save を選択し、特定の操作を選択することで、Power Save のコンテキストメニューを使用できます。



ワークステーション上での Power Save の手動インストール

Power Save Loadin をインストールすると、ワークステーションインストーラファイルは、 C:\Program Files\Faronics\Faronics Core\Loadins\Power Save ディレクトリに展開されます。 ワークステーションに Power Save をインストールするには、32 ビットのオペレーティングシ ステムの場合、PowerSave_Ent_32-bit.msi を、64 ビットのオペレーティングシステムの場合、 PowerSave_Ent_64-bit.msi をダブルクリックします。

Power Save で管理するワークステーションごとに、同じ手順を繰り返します。

Power Save をワークステーションに手動でインストールするには、次の手順を実行します。

 .msi ファイルをダブルクリックして、インストールプロセスを開始します。[次へ]をク リックして、続行します。



2. 使用許諾契約書を読み、同意します。[次へ]をクリックして、続行します。





3. [ユーザー名]、[所属]、[ライセンスキー]を入力します。ライセンスキーがない場合、[評価版を使用]チェックボックスを選択してください。Power Save の評価版は 30 日間で有 効期限が切れます。Power Save をすでに購入されている場合、www.faronicslabs.com にログ インして、ライセンスキーを入手できます。[次へ]をクリックして、続行します。

🙀 Faronics Power S	ave Workstation Setup	×
Customer Informa Please enter your custo	tion mer information	
<u>U</u> ser Name:	Faronics	_
Organization:	Faronics	_
	✓ Use Evaluation	
	Back Next	Cancel

4. インストール場所を指定します。デフォルトは、C:\Program Files\Faronics\Power Save Workstation です。[次へ]をクリックします。

🙀 Faronics Power Save Workstation Setup	
Destination Folder Click Next to install to the default folder or click Browse to choose another.	
Install Faronics Power Save Workstation to:	
C:\Program Files\Faronics\Power Save Workstation\ Browse	
Back Next (Cancel

5. [インストール]をクリックして、インストールを完了します。



🔂 Faronics Power Save Workstation Setup	
Ready to install Faronics Power Save Workstation	
Click Install to begin the installation. Click Back to review or change any of your installation settings. Click Cancel to exit the wizard.	
Back Install	Cancel

再起動の抑制

サーバーのグループポリシーを使って、ネットワーク上で Power Save をインストールするため に、.msi ファイルを使用できます。.msi ファイルを使って Power Save をインストールすると、 インストール後にワークステーションが再起動します。インストール後のワークステーション の再起動を避けるには、再起動を抑制するオプションとともに.mst を使用することができま す。サーバーのグループポリシーを使ってインストールパッケージを作成する際に、.mst ファ イルを.msi ファイルに関連付けます。

.mst ファイルは、C:\Program Files\Faronics\Faronics Core\Loadins\Power Save ディレクトリ に展開されます。32 ビットのオペレーティングシステムには、uppress_Reboot_32-bit.mst を、 64 ビットのオペレーティングシステムには、Suppress_Reboot_64-bit.mst を使用します。



Core Console を使った Power Save ライセンスの適用

Power Save の評価版を使用している場合、ライセンスを適用して、完全版に更新することができます。最近 Power Save のアップグレード版を購入された場合、ワークステーションにそのアップグレード版をインストールし、Core Console からライセンスを適用できます。

Power Save のライセンスを適用するには、次の手順を実行します。

- 1. コンソールツリーペインにある[コアサーバー名]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- 2. [Power Save] タブをクリックします。[編集]をクリックし、[ライセンスキー]フィールド にライセンスキーを入力します。
- 3. [適用]をクリックします。[OK]をクリックします。
- 4. ライセンスキーは、Power Save で実行するすべてのワークステーションに適用されます。

28 Power Save のインストール





Power Save へのアクセス

トピック

概要

 Core Console からの Power Save へのアクセス

 ワークステーションで Power Save へのアクセス





Power Save は、Core Server の Core Console からまたは Power Save が配備されたワークステーションから直接アクセスできます。



Core Console からの Power Save へのアクセス

Power Save は、**Core Console** のワークステーションリストから1台以上のワークステーション を選択し、**Power Save Loadin > [Policy_Name] > [**ポリシー詳細の表示] を選択して、**Core Console** からアクセスできます。

複数のワークステーションを一度に選択できます。ワークステーションの連続した範囲を選択するには、[Shift] キーを押したまま選択します。また、連続していないワークステーションを選択するには、[Ctr 1] キーを押したまま選択します。変更を加えると、選択したすべてのワークステーションに適用されます。ワークステーションのステータスは、個別に取得する必要があります。



Loadin が1つ以上インストールされている場合、ワークステーションを右ク リックして、Power Save を選択し、特定の操作を選択することで、Power Save のコンテキストメニューを使用できます。

Core Console の [アクション]ペイン

右クリック機能を使うと、Core Console ウィンドウの右側の[アクション]ペインにあるいくつ かの Power Save コマンドにアクセスすることができます。リストからワークステーションを選 択すると、[アクション]ペインにこれらのタスクがリストされます。



ワークステーションで Power Save へのアクセス

Windows のシステムトレイで Power Save アイコンを右クリックすると、Power Save の一部の 機能を使用できます。



Power Save の設定

ネットワーク上のさまざまな電源設定を管理するために、Power Save を使用することができま す。本章では、Power Save を管理し設定する方法について説明します。

トピック

概要

Power Save ポリシー *電源スケジュールの追加または編集 詳細オプション*

26

概要

Power Save は以下の概念で構成されています。

電力イベント

Power Save 設定には次のものがあります。

- 非アクティビティタイムアウトアクション 事前に定義された時間が経過したら、Power Save によって、モニターとハードディスクの電源を切り、コンピュータをシャットダウン するかどうかを定義します。
- 非アクティビティ定義 ハードディスク、CPU、またはネットワークのアクティビティが定義されたレベルを下回る場合、Power Save によりコンピュータの電源管理を行うかどうかを定義します。

電源スケジュール

電源スケジュールには次のものがあります。

• 1つ以上の電力イベント

電源ポリシー

電源ポリシーには次のものがあります。

- 電源スケジュール
- 構成の設定
- 電力料金



Power Save ポリシー

ポリシーとは設定の集まりを指します。Power Save ポリシーを作成して、複数のワークステーションに適用できます。複数のポリシーは要件に応じて作成できます。

新しい Power Save ポリシーを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. Power Save Loadin を右クリックして、[新規ポリシー]を選択します。
- 2. [新規ポリシー]ダイアログが表示されます。ポリシー名を指定して、[OK]をクリックします。

终 新規ポリシー		×
ポリシー名:	Test	
		-
	<u>O</u> K	キャンセル

3. ポリシーを右クリックし、[ポリシーの詳細]を選択します。設定とスケジュールの電源ス ケジュールが表示されます。次の設定を行います。

🕙 Policy Details: Test					<u>? ×</u>
 Policy Details: Test 電源久グジュール	電源スケジュ ー 現在のポリシーには次の 開始時間 08:00 AM 06:00 PM 06:30 PM	ル Dイベントが関連付けられ 月 火 水 木 * * * * *	ています: 金 土 日 注意 ✓ 営薬時間中 ✓ 夜間 ✓ 水フテナンス	ካተሪዎッታ	
	プロパティを変更するに	は、イベントを選択		追加(D)編集(E)削除(E	<u>」</u>
				<u>OK</u> キャンセル(C) 適用	(<u>A</u>)

- [追加]をクリックして、新規力イベントを追加します。
- 設定を選択して、[編集]をクリックして、電力イベントを編集します。
- 設定を選択して、[削除]をクリックして、電力イベントを削除します。

電力イベントの作成の詳細は、*電源スケジュールの追加または編集*を参照してください。



4. [構成設定]をクリックします。



5. [アプリケーションコントロール]をクリックします。

● Policy Details: Test 電源スケジュール 構成の設定 アブリケーションコントロール Windows電源オブションン ハードウェア設定 ユーザー体験 管理設定 電力コスト	アプリケーションコントロール 「チェックマークが付いた次のアプリケーションが実行されている場合、電源管理を行わない(D): 「「アプリケーション モニターの電源管理	<u>?×</u>
	アプリケーション名:	
	アプリケーション名· 道加 (D) 削除 (B) 道加 (D) 削除 (B) 	(<u>A</u>)


- 次のアプリケーションが実行されている場合、電源管理を行わない:この機能は、重要なプログラム(たとえば、Power Point など)が実行中に便利です。重要なプログラムが実行中でユーザーへの中断を避ける場合、Power Save が節電を行わないように設定できます。
 - - [次のアプリケーションが実行されている場合、電源管理を行わない]を選択します。アプリケーション名を参照して選択し、[追加]をクリックします。
 - エントリを選択し、[削除]をクリックして、アプリケーションを削除します。
- チェックマークが付いた次のアプリケーションによるアクティビティを無視する:この機能は、ウイルス対策プログラムなどのアプリケーションをバックグラウンドで実行しており、 Power Save により無視できるときに便利です。
 - [チェックマークが付いた次のアプリケーションによるアクティビティを無視する]を選択します。アプリケーション名を参照して選択し、[追加]をクリックします。
 - エントリを選択し、[削除]をクリックして、アプリケーションを削除します。
- 6. [Windows 電源オプション]をクリックします。

🔇 Policy Details: Test		<u>? ×</u>
 電源スケジュール 構成の設定 アフリケーションコントロール Windows電源オブション ハードウェア設定 ユーザー体験 管理設定 電力コスト 	 Windows電源オプションを無効にする Windowsポペレーティングシステムの電源オブションによるFaronics Power Save電源管理への干渉を防ぎます。 スタンパイパスワードチャレンジから再開(B) コンピュータがスタンパイまたは休止状態から資源する際に、Windowsのパスワードを入力する必要があります。 コンピュータの電源を切る前にログオフする(L) コンピュータをスタンパイまたは休止状態にする前に、ユーザーをログオフする 	
	<u>QK</u> キャンセル(C) 適用	∃ (<u>A</u>)

次のオプションを選択します:

- Windows電源オプションを無効にする Power SaveでWindows電源オプションを無効にする 場合は、このオプションを選択します。デフォルトでこのオプションは選択されています。 このオプションが選択されていると、Windows電源オプションは無視され、Power Saveの 設定が優先されます。
- スタンバイパスワードチャレンジから再開 コンピュータがスタンバイまたは休止状態から 復帰する際に、ユーザーに Windows のパスワードの入力を求める場合は、このオプション を選択します。
- コンピュータの電源を切る前にログオフする コンピュータの電源を切る前にログオフする 場合は、このオプションを選択します。これによりすべての接続中のネットワークが切断され、無許可のユーザーが開いたネットワーク接続を誤使用することを防ぎます。



7. [ハードウェア設定]ノードをクリックします。

🔇 Policy Details: Test		<u>ı</u> ×
 電源スケジュール 構成の設定 アフリケーションコントロール Windows電源オプション ハードワコア設定 ユーザー(体験 管理設定 電力コスト 	 ハードウェア設定 デバイスでウェイクする チェックマークが付いた次のデバイスによりコンピュータをウェイクする: ▼ キーボード (K) ▼ マウス (M) ▼ マウス (M) ▼ ネットワークインターフェイスカード(NIC) (N) コンピュータがWOUリレーとして指定されていたら、スリープまたはスタンバイにしない ワークステーションがワイヤレスネットワーク接続されていたら、電力を管理しない 	
	<u>QK</u> <u>キャンセル(Q)</u> 通用(A)	

- デバイスでウェイクする コンピュータをウェイクする入力デバイスを選択します。
 - キーボード
 - ー マウス
 - ネットワークインターフェイスカード
- [コンピュータが WOL リレーとして指定されていたら、スリープまたはスタンバイにしない] を選択します。これにより、コンピュータが WOL リレーとして指定されている場合、ス リープまたはスタンバイモードになりません。このオプションによりコンピュータはネット ワーク上の他のコンピュータをウェイクするために起動し続けます。
- [ワークステーションがワイヤレスネットワーク接続されていたら、電力を管理しない]を選択します。これにより、コンピュータが無線ネットワークに接続されている場合、スリープモードにならず、無線を切断しません。



8. [ユーザー体験]ノードをクリックします。

 Policy Details: Test 電源スケジュール 電焼の設定 アブリケーションコントロール Windows電源オプション ハードウェア設定 ユーザー体験 管理設定 電力コスト 	ユーザー体験 ユーザ通知 マ ユーザに Power Save の操作について通知(N) 30 一一 ~ 秒前 通知メッセージ: Faronics Power Save will now take power saving action on this machine. ステルスモード ステルスモード ステルスモード ステルスモードにより、Faronics Power Saveインターフェイスの要素が非表示になります。 タスクバーの通知エリアアイコンを非表示にする (T) コ コ本軍者ペッセージを非表示にする (T)	?
	ユーザー入力 □ ワークステーションの電源管理を一時的に述らせることをユーザー(活計可する: 1 ・ 時間 □ ローカルウェイクアップをスケジュール設定して、電源管理を遅らせる最長時間: 0 ・ 時間 (スタンパイと休止からのみ) <u>QK</u> キャンセル(Q)	適用 (<u>A</u>)

- [x秒前にユーザーにPower Saveの操作について通知]を選択します。.[通知メッセージ]を編集 して、メッセージをカスタマイズできます。
- ステルスモード ユーザーに Power Save のユーザーインターフェイス要素を非表示にするには、次のオプションを選択します。
 - タスクバーの通知エリアアイコンを非表示にする
 - エコ事実メッセージを非表示にする
- ユーザー入力 次のオプションを選択します。
- ワークステーションの電源管理を一時的に遅らせることをユーザーに許可する:これにより、 ユーザーは予め設定した時間ワークステーションの電源管理を遅らせることができます。
- ローカルウェイクアップをスケジュール設定して、電源管理を遅らせる最長時間:これにより、ユーザーはローカルのウェイクアップをスケジュールし、予め設定した時間電源管理を 遅らせることができます。



9. [管理設定]をクリックします。

🕙 Policy Details: Test		? ×
 電源スケジュール 構成の設定 アブリケーションコントロール Windows電源オブション ハードウェア設定 ユーザー体験 管理設定 電力コスト 	 管理設定 聞、応文書の保存 ▽ 次の場所に聞いた文書のコピーを保存する(丁): MUserProfileWMy Documents¥Files Saved by Power Save <u>変更(3)</u> デフォルトに戻す(B) ▽ 文書のコピーが保存されるとユーザー(ご通知されます(N) パスワード「保護 コマンドラインコントロールパスワードの有効化(E) コマンドラインコントロールパスワードの有効化(E) コマンドラインコントロールがら、Faronics Power Saveクライアントを展開して管理できます。セキュリティを高めるため に、パスワード 新しいパスワードの確認: 	
	<u></u>	(<u>A</u>)

- [次の場所に開いた文書のコピーを保存する]を選択します。パスを指定します。デフォルトのパスは、%User Profile%\My Documents\Files Saved by Power Save です。このアクションをユーザーに伝えるには、[文書のコピーが保存されるとユーザーに通知されます]を選択します。
- コマンドラインから Power Save を管理中にセキュリティを確実にするには、[コマンドラインコントロールパスワードの有効化]を選択します。



10.[電力料金]をクリックします。

🔇 Policy Details: Test		×
 電源スケジュール 	電力コスト 現在のポリシーには次のイベントが関連付けられています: 開始時間 月 火 水 木 金 土 日 コスト 08:00 AM > > > > > > > > > > > > 0.09 ブロパラィを変更するには、イベントを選択 注加 (①) 編集 (E) 剤()家 (B)	
	<u>QK</u> <u>キャンセル(Q)</u> 適用(A)	

11. [追加]をクリックして、新規電力料金を追加します。

- KwH 当たりのコスト 自分の地域のコストを指定します。
- 開始時間 電力料金の計算を開始する時間を選択します。
- 日 電力料金を計算する日を選択します。

🕙 電力コストの編集								×
KwH当たりのコスト 開始時間:	0.019	¥ 10 AM	•		I	ネルギー	-コストの検索	
曜日:	月	火 ☑	水 ☑	★ ▼	金 ☑	± ⊽	⊟ I	
					<u>0</u> K		キャンセル(2

12. [電気代の計算]をクリックします。[電力料金]を選択して、[OK]をクリックします。この 手順はオプションです。



🕙 エネ	ルギーコストの検索	×
「エネル	ギーコストの検索	
Power 一料经	r Save はロケーションに応じてエネルギーコストの見積もりをおこなうことができます。さらに正確なエネルギ とに関しては施設管理者に確認してください。	
国·地	域▼	
見積	50電力料金:	
注記:	1) 表示された価値はサードパーティーのデータにもとずいた見積もりです	
	2) 正確な報告を確保するため、あなたのCore Console のロケールは、 Core Server のロケールと一致することを確認 してください	
見積	50データの更新(U) キャンセル(O)	

13. 電力料金が適用されます。[適用]をクリックします。[OK]をクリックします。

🔇 Policy Details: Test		? ×
 電源スケジュール 構成の設定 アグリケーションコントロール Windows電源オブション ハードウェア設定 ユーザーイキ酸 管理設定 電力コスト 	電力コスト 現在のポリシーには次のイベントが関連付けられています: 開始時間 月 火 水 金 土 日 コスト 08:00 AM く く く く く く 0.09 09:00 AM く く く く く 0.09 09:00 AM く く く く 0.09 10:00 AM く く く く 0.09 10/5-rを変更するには、イベントを選択 追加(D) 編集(E) 削除(E)	
		(<u>A</u>)



電源スケジュールの追加または編集

電源スケジュールを作成するには、次の手順を実行します。

1. ポリシーを右クリックし、[ポリシーの詳細]を選択します。

2. [電源スケジュール]ノードをクリックします。[追加]をクリックします。

🕑 Policy Details: Test					<u>? ×</u>
 電源スケジュール 構成の設定 アブリケーションコントロール Windows電源オブション ハードウェア設定 ユーザー(本株) 管理設定 電力コスト 	電源スケジュ、 現在のポリシーにはが 開始時間 08:00 AM 06:00 PM 06:30 PM	- ル なのイベントが関連作 ↓ 月 火 水 ✓ ✓ ✓ ✓	tけられています: 木 金 土 日 ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	注意 営業時間中 夜間 メンテナンス	<u>ウェイクアップ</u> 編集 (E) <u>肖I除 (R)</u>
				<u>O</u> K	<u>キャンセル(C)</u> 適用(A)

3. [電力イベントの追加]ダイアログで次のオプションを設定します。



🕙 電力イベン	小の編集	×
24-27		
) 士言己:		
開始時間:	08:00 AM 👻	
	月 火 水 木 金 土 日	
曜日:		
□ この設み	定を有効にするには、クライアントをウェイクします(休止またはスタンバイモードからのみ)(<u>W</u>)	
○ シャット	ダウン(S)	
○ ダイナミ	ック設定:(Y) ユーザーの妨害が少ない	電力節約が増加
 I¥細設 	定(<u>A</u>)	
電源管	理の開始: • コンピュータ起動時(T)	
	○ 最初のキーボード/マウスの操作後(F)	
	7	0
	電源に接続中	↓ バッテリーで稼働中
▼ * る:	ーボード/マウスの操作が次の時間行われないと、モニターをオフにす 10 💼 分 (M)	5 🚊 分
ロキフ	ーボード/マウスの操作が次の時間行われないと、ハードディスクをオ 15 🚍 分 こする(出)	10 🚍 分
	タンバイ 💽 キーボード/マウスの操作が次の時間行われない 20 📑 分と、 PC:	15 1 分 マ スリーブ状態がサポートされていない場合、 シャットダウン(L)
🕤 Sh	iow Additional Inactivity Definitions	
		<u>OK</u> ++>>t2/KO

- 注意 必要に応じて、イベント名を編集します。
- 開始時間-ドロップダウンから開始時間を選択します。
- 日-このイベントが発生する日を選択します。
- この設定を有効にするには、クライアントをウェイクします(休止またはスタンバイモードからのみ)-Power Save によりワークステーションをウェイクする場合は、このオプションを選択します。
- シャットダウン 予め設定した時間にコンピュータをシャットダウンするイベントを作成する場合は、このオプションを選択します。
- ダイナミック設定:-ダイナミック設定を行うにはこのオプションを選択します。スライダで オプションを選択します。オプションは[ユーザーの妨害が少ない]から[電力節約が増加]へと変化します。ダイナミック設定はデフォルトでコンピュータの起動時に開始します。
- 詳細設定 次のオプションの中から選択します。
 - - 電源管理の開始-コンピュータが起動すると同時に電源管理を開始するには、[コン ピュータ起動時]を選択します。別のオプションとして、[最初のキーボード / マウスの 操作後]を選択することもできます。
 - 非アクティブタイムアウトには次のオプションを選択します。



オプション	説明	電源利用時	説明	パッテリー利 用時	説明
キーボード / マウスの操作 が次の時間行 われないと、 モニターをオ フにする	指定した時間が経 過したら、モニ ターの電源がオフ になるようにする には、このチェッ クボックスを選択 します。	x 分/ 秒	電源に接続されて いる場合、数値を 選択し、分または 秒を指定します。	x 分/ 秒	バッテリーで駆動 している場合、数 値を選択し、分ま たは秒を指定しま す。
キーボード / マウスの操作 が次の時間行 われないと、 ハードディス クをオフにす る	指定した時間が経 過したら、ハード ディスクの電源が オフになるように するには、この チェックボックス を選択します。	x 分/ 秒	電源に接続されて いる場合、数値を 選択し、分または 秒を指定します。	x 分 / 秒	バッテリーで駆動 している場合、数 値を選択し、分ま たは秒を指定しま す。
シャットダウ ン/ スタンバイ/ 休止状態まで の時間	指定した時間が経 過したら、コン ピュータがシャッ トダウン / スタン バイ / 休止状態に なし、このチェック ボックスを選択し ます。	x 分/ 秒	電源に接続されて いる場合、数値を 選択し、分または 秒を指定します。	x 分/ 秒	バッテリーで駆動 している場合、数 値を選択し、分ま たは秒を指定しま す。
スリープ状態 がサポートさ れていない場 合、シャット ダウン	スタンバイまたは 休止状態がサポー トされておらず、 コンピュータを シャットダウンす るには、この チェックボックス を選択します。				



オプション	説明	電源利用 時	説明	パッテリー 利用時	説明	次の頻度でサ ンプルする
ディスク稼 <i>働率は右の</i> 値未満	ディビテ電にすったのでがいたった。 アイビアにはたるでででした。 ででではたいでででは、 クロングではたいででです。 ののでは、 ののでのでです。 ためでのです。 ためでのです。 ためでは、 のでのです。 ためでは、 のでのです。 ためでは、 のでのです。 ためでは、 のでのです。 ためでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでは、 のでのでいた。 のでのでは、 のでのでいた。 のでのでは、 のでのでいた。 ののでのでのでででいた。 ののでのでのでのででででいた。 ののでのでのででででいた。 ののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	x%	この値はパー セントで選択 します。	<i>x%</i>	この値はパー セントで選択 します。	選りもかをしたいか認ったいか認ったいが認ったがです。 したいかで、 したいかで、 たいかで、 たて、 たて、 たいかで、 たいかで、 たいかで、 たいかで、 たいかで、 たいかで、 たいかで、 たいかで、 たいかた、 イェッを します。 したいで、 たいで、 たいで、 たいで、 たいで、 たいで、 たいで、 たいで、
	たとえば、[パー・ 稼働率が 10 秒ご)	センテージ]を とにチェックさ	:「50」、[サンプ :れ、稼働率が 50	リング頻度] を % を下回ってい	「10」に設定する るかどうかが確認	と、ディスク Sされます。
CPU 稼働率 <i>は右の値未</i> 満	CPU のアクティ ビティが指定し た値よりも下 がっ管理を行うに は、このチェッ クボ 沢します。	<i>x%</i>	この値はパー セントで選択 します。	<i>x%</i>	この値はパー セントで選択 します。	選択した値よ りも低いかど うかを確認ク ティビクク ティック 環 間 ます。
	たとえば、[パー・ 率が 10 秒ごとに	センテージ]を チェックされ、	: 「25」、[サンプ 稼働率が 25% を	リング頻度] を 下回っているか	「10」に設定する どうかが確認され	と、CPU 稼働 Lます。
<i>ネットワー ク稼働率は 右の値未満</i>	ネックティビティビティビティビティビをしたってののインシンティビをした。 やりたいででではいた。 やりたいででではたいでででは、 でのためでででは、 でのためでは、 でのためでは、 に、 ののののでは、 に、 のののののののののでは、 に、 のののののののののののののののののののののののののののののののののの	<i>x%</i>	この値はパー セントで選択 します。	<i>x%</i>	この値はパー セントで選択 します。	選択した値よ りかを確認す るたイエック すエ い を で し た で イ ン ク を み た の た の た の た の た の た の た の た の た の た
	たとえば、[パー ク稼働率が 10 秒)	センテージ]を ごとにチェック	: 「 25」、[サンプ され、稼働率が:	リング頻度] を 25% を下回って	「10」に設定する いるかどうかが確	と、ネットワー 認されます。

4. [OK] をクリックします。



Power Save アラート

管理者は指定したユーザーに電子メールでアラートを送信するように Power Save を設定できます。

- 1. コンソールツリーペインで[アラート]をクリックします。
- 2. 次の場合に通知が必要なユーザーの電子メールアドレスを指定します。
- ライセンスの期限が終了した場合または 30 日で終了する場合
- 古いバージョンの Power Save がワークステーションで実行されている場合
- ポリシー調整リクエスト ユーザーが感度を上昇または低下するようポリシーの調整をリク エストした場合



ワークステーションでの Power Save の手動設定

Windows のシステムトレイで Power Save アイコンを右クリックすると、次の機能を使用できます。

連続起動

- ワークステーションの電源管理を一時的に無効にして、コンピュータを起動したままにする には、[連続起動]>[有効化]>[x 時間] を選択します。メニューから x の値を選択します。
- Power Save での電源管理を有効にするには、[電源管理の再開]を選択します。



このオプションは、Core Console の Power Save Loadin を介して、[管理者] > [ワークステーションオプション] サブノードで [コンピュータを最大 x 時間起動 し続ける] チェックボックスが選択されている場合のみに使用できます。

コンピュータウェイクアップのスケジュール設定

特定の時間にコンピュータをウェイクするようにスケジュール設定するには、次のオプション を選択します。

🏷 コンピュータウ:	エイクアップのスケジュール設定 💽
Faronics Power S 状態の場合にロ [、] できます。	aveではこのコンピュータがスタンバイまたは休止 ーカルウェイクアップを行うようにスケジュール議定
🔽 ວິທສັນປິຊ –	タを次の時点でウェイクアップする: <u>(W</u>)
時間:	08:00 -
頻度:	繰り返さない・
(D)ウェイク を遅らせる	7 <u>97後に最長</u> 1 → 時間電源管理
	キャンセル(C) OK

- [コンピュータウェイクアップのスケジュール設定]を選択します。
- [このコンピュータを次の時点でウェイクアップする]および[時間]と[頻度]を選択します。
- [ウェイクアップ後に最長 x 時間電源管理を遅らせる]を選択して、電源管理を遅らせます。



このオプションは、Core Console の Power Save Loadin を介して、[Power Save ポリシー]で[ローカルウェイクアップをスケジュール設定して、電源管理を最 長 x 時間遅らせる]チェックボックスが選択されている場合のみに使用できま す。ワークステーションが Audit mode になっていると、ウェイクアップが設定 されていても、キャンセルされます。

自動保存されたファイルの表示

このオプションは Power Save によって自動保存されたファイルを表示します。



- 1. 右クリックして、[自動保存されたファイルの表示]を選択します。
- 2. [自動保存ファイル]ダイアログが表示されます。

名前	ユーザー保存	Power Save保存	サイズ	場所	
	- -保存」ファイルと「Power Sav	∈保存」ファイルを表示します。			

- 3. 次の中からアクションを選択します。
- ファイルを開くには、[開く]をクリックします。
- ファイルを別の場所に保存するには、[保存]をクリックします。
- ダイアログおよびコンピュータからファイルを削除するには、[破棄]をクリックします。
- ダイアログを閉じるには、[閉じる]をクリックします。

バージョン情報

このオプションは Power Save に関する情報を表示します。

<u> </u>	owersave	
	Faronics Power Save	
バージョン:	4.50.3220.772 [評価版]	
2証:	有効期限 12月 22, 2012	

- 製品-製品名
- バージョン-バージョン番号が表示され、製品が評価版であるか製品版であるかが示されます。
- 認証 Power Save の有効期限が表示されます。



ダイナミック設定の調整

[電力イベント]で[ダイナミック設定]が選択されている場合、ユーザーは管理者にこの設定 の調整をリクエストできます。システムトレイで Power Save アイコンをダブルクリックする と、2 つのオプションが使用できます。

- 電力節約を高める
- 電力節約を行う前にもう少し時間が欲しい

これらのオプションのいずれかを選択して、[送信]をクリックします。

電源スケジュールの設定

Power Save は以下の概念で構成されています。

Power Save 設定

Power Save 設定には次のものがあります。

電源スケジュール

電源スケジュールには次のものがあります。

• 1 つ以上の Power Save 設定

電源ポリシー

電源ポリシーには次のものがあります。

- 電源スケジュール
- 構成の設定
- 電力料金



詳細オプション

Power Save では次の詳細オプションが使用できます。

- 動的カスタムワークステーショングループ
- サブネットにまたがる Wake-on-LAN
- Wake-on-LAN Web インターフェース

動的カスタムワークステーショングループ

管理されたワークステーションが複数ある場合、Faronics Core では動的カスタムワークステー ショングループを作成することができます。この機能により、事前に定義されたパラメータに 基づいて、ワークステーショングループを作成し、動的にワークステーションリストを更新す ることができます。

動的カスタムワークステーショングループは、組織の部門、物理的な場所、およびユーザーグ ループに基づいて作成することができます。

動的カスタムワークステーショングループの詳細は、http://www.faronics.com/library からダ ウンロードできる『Faronics Core ユーザーガイド』を参照してください。

サブネットにまたがる Wake-on-LAN

Wake-on-LAN (WOL) ブロードキャストパケットが、ルーターやその他のネットワーク装置を 通過しないことがあるという状態では、リモートサブネットのワークステーションを常に起動 できるわけではありません。その場合、1 台以上のワークステーションを WOL リレーとして指 定することができます。

Core Console からリモートサブネットのワークステーションを起動しようとすると、そのサブ ネット上の WOL リレーを使用して、ターゲットのサブネット上で起動メッセージを再送するよ う要求します。

サブネットにまたがる Wake-on-LAN についての詳細は、http://www.faronics.com/library か らダウンロードできる『Faronics Core ユーザーガイド』を参照してください。

Wake-on-LAN Web インターフェース

Power Save によってワークステーションの電源が管理されている場合、Wake-on-LAN Web イ ンターフェイスでワークステーションを起動することができます。企業の仮想プライベート ネットワーク (VPN) にログオンすると、ワークステーションをリモートで起動することができ ます。

Wake-on-LAN ウェブインターフェイスについての詳細は、http://www.faronics.com/library か らダウンロードできる『Faronics Core ユーザーガイド』を参照してください。



Power Save レポート

Power Save にはさまざまなレポート機能があります。本章では、Power Save レポートの詳細について説明します。

トピック

フルオペレーションレポート Audit Only レポート Power Save レポートのエクスポート、印刷、電子メール送信



Power Save レポートの作成

Power Save には次のレポートがあります。

- フルオペレーションレポート
- Audit Only レポート
- システム稼働レポート



フルオペレーションレポート

フルオペレーション詳細レポートは、エネルギー消費プロフィール、各プロフィールの節電量、 および全体の節電量を示します。このレポートには、ネットワーク上の各コンピュータの節電量 と全体の節電量を表す Power Save パフォーマンス詳細レポートが含まれます。

フルオペレーションレポートを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. ワークステーションを右クリックして、[レポートの生成]>[フルオペレーションレポート]を選択します。
- 2. [フルオペレーションレポート]ダイアログが表示されます。

🍐 Full Operation レポート 💌
今日 : 2015年6月12日
レポート名: 2015-06-12 - フルオペレーション
レポートのタイプ: エネルギー消費プロフィールでの節約量 🗸
グループの選択 : ワークグループの選択 ∨
開始: 終了:
◀ 6月.2015 ▶ ◀ 6月.2015 ▶
1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 21 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 22 24 24 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 14 5 6 7
□ 〉次の範囲でイベントをレポートする (B):
開始時間: 08:00 ♥ 終了時間: 17:00 ♥
日月火水木金土 対象となる曜日:
□ 詳細なパフォーマンスレポートを含める (D)
✓ ワークステーション名を含める (M) □ ワークステーションIPアドレスを含める (I) □ ワークステーションMacアドレスを含める (M)
□ Windowsの電源プラン節約を含みます
□ デフォルトのウェブブラウザで間く (0)
生成 (G) キャンセル(C)

- 3. 次のフィールドに値を指定します。
- レポート名 レポートの名前を指定します。
- レポートのタイプ ドロップダウンからレポートのタイプを選択します。
 - エネルギー消費プロフィールでの節約量
 - カスタムワークステーショングループでの節約量
 - カスタム電源プランでの節約量
 - 上位 25 のエネルギーセーバー
 - 下位 25 のエネルギーセーバー
- 開始 日付を選択します。
- 終了 日付を選択します。



- 次の範囲でイベントをレポートする:-開始時間と終了時間を選択します。
- 対象となる曜日:-曜日を選択します。
- 詳細なパフォーマンスレポートを含める 次のチェックボックスを選択します。
 - ワークステーション名を含める
 - ワークステーション IP アドレスを含める
 - MAC アドレスを含める
- Windows の電源プラン節約を含む Windows の電源プランによる節約を含む場合は、このオ プションを選択します。
- デフォルトのウェブブラウザで開く デフォルトのウェブブラウザでレポートを開くには、 このチェックボックスを選択します。
- 4. [生成]をクリックします。左側のペインの[レポート]ノードの下にレポート名が表示され、[デフォルトのウェブブラウザで開く]が選択されていると、デフォルトのウェブブラウザでそのレポートが開きます。レポート名をクリックすると、その詳細が Core Consoleのメイン画面に表示されます。



レポートの値は概数ですが、[エネルギー消費のプロフィール]タブに入力する 値が正確であるほどレポートの値も正確になります。

Audit Only レポート

Audit Only レポートには、Power Save により管理されているネットワーク上のコンピュータで 節約される電力量が推定で表示されます。

Audit Only レポートを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. ワークステーションを右クリックして、[レポートの生成]>[Audit Only レポート]を選択 します。
- 2. [Audit Only レポート]ダイアログが表示されます。

碜監査のみのレポート	×
今日 : 2012年11月2	22日
レポート名: 2012-11-22 -	監査のみ
レポートのタイプ: エネルギー消費	マロフィールでの節約量 👤
グループの選択: ワークグループの	D選択
開始:	終了:
◀ 11月.2012 ►	◀ 11月.2012 ►
日月火水末金土 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8	日月火水木金土 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8
○ 次の範囲でイベントをレポートす 885405488 000000000000000000000000000000	3 (B):
日 月 対象となる曜日: 厂 厂	
□ 詳細なパフォーマンスレポートを含	含める (<u>D</u>)
☑ ワークステーション名を含める □ ワークステーションIPアドレス □ ワークステーションMacアドレ	5 (N) を含める (I) スを含める (M)
□ デフォルトのウェブブラウザで開く	0
	生成 (g)キャンセル(<u>c</u>)

- 3. 次のフィールドに値を指定します。
- レポート名 レポートの名前を指定します。
- レポートのタイプ ドロップダウンからレポートのタイプを選択します。
 - エネルギー消費プロフィールでの節約量
 - カスタムワークステーショングループでの節約量
 - カスタム電源プランでの節約量
 - 上位 25 の潜在的なエネルギーセーバー
 - 下位 25 の潜在的なエネルギーセーバー
- 開始-日付を選択します。
- 終了 日付を選択します。
- 次の範囲でイベントをレポートする:-開始時間と終了時間を選択します。
- 対象となる曜日:-曜日を選択します。



- 詳細なパフォーマンスレポートを含める 次のチェックボックスを選択します。
 - ワークステーション名を含める
 - ワークステーション IP アドレスを含める
 - MAC アドレスを含める
- デフォルトのウェブブラウザで開く デフォルトのウェブブラウザでレポートを開くには、 このチェックボックスを選択します。
- 4. [生成]をクリックします。左側のペインの[レポート]ノードの下にレポート名が表示され、[デフォルトのウェブブラウザで開く]が選択されていると、デフォルトのウェブブラウザでそのレポートが開きます。レポート名をクリックすると、その詳細が Core Consoleのメイン画面に表示されます。



レポートの値は概数ですが、[エネルギー消費のプロフィール]タブに入力する 値が正確であるほどレポートの値も正確になります。



システム稼働レポート

システム稼働レポートは、コンピュータが Power Save で管理されている場合、コンピュータの システム稼働状況を表示します。このレポートには、Windows と Faronics Core の稼働状況も表 示されます。システム稼働レポートは、一度に1台のワークステーションを対象に作成できま す。

システム稼働レポートを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. ワークステーションを右クリックして、[レポートの生成]>[システム稼働レポート]を選 択します。
- 2. [システム稼働レポート]ダイアログが表示されます。

🍪 システム稼働レポート 🛛 🗙
今日: 2012年11月22日
レポート名: 2012-11-22 - システム稼働レポート
開始:終了:
◀ 11月.2012 ▶ ◀ 11月.2012 ▶
日月火水末金土 日月火水末金土 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 12 3 4 5 6 7 8 23 3 1 2 3 4 5 6 7 8<
□ 次の範囲でイベントをレポートする (R): 開始時間: 10800 ▼ 終了時間: 17:00 ▼
日月火水木金土 対象となる曜日:「「「「「「」「」「」「」「」「」
 ぼ細なパフォーマンスレポートを含める(D) 「ワークステーション名を含める(N) 「ワークステーションIPアドレスを含める(D) 「ワークステーションIPアドレスを含める(M) 「ワークステーションMacアドレスを含める(M)
□ デフォルトのウェブブラウザで間((0)
生成 (G) キャンセル(C)

- 3. 次のフィールドに値を指定します。
- レポート名 レポートの名前を指定します。
- 開始 日付を選択します。
- 終了 日付を選択します。
- 次の範囲でイベントをレポートする:-開始時間と終了時間を選択します。
- 対象となる曜日:-曜日を選択します。
- 詳細なパフォーマンスレポートを含める 次のチェックボックスを選択します。
 - ワークステーション名を含める
 - ワークステーション IP アドレスを含める
 - MAC アドレスを含める
- デフォルトのウェブブラウザで開く-デフォルトのウェブブラウザでレポートを開くには、 このチェックボックスを選択します。



4. [生成]をクリックします。左側のペインの[レポート]ノードの下にレポート名が表示され、[デフォルトのウェブブラウザで開く]が選択されていると、デフォルトのウェブブラウザでそのレポートが開きます。レポート名をクリックすると、その詳細が Core Consoleのメイン画面に表示されます。



Power Save レポートのエクスポート、印刷、電子メール送信

Power Save レポートは、さまざまな形式によるエクスポート、印刷、または電子メールで送信 することができます。

エクスポート

レポートは.txt、.csv、.xml または.html ファイルにエクスポートできます。レポートをエクス ポートするには、レポートを右クリックして、[レポートのエクスポート]を選択します。[名 前を付けて保存]ダイアログが表示されたら、ファイル名を指定し、ファイルの種類を選択し、 [保存]をクリックします。

印刷

Power Save レポートを印刷するには、Power Save レポートの右上の[印刷]アイコンをクリックします。[印刷]ダイアログでプリンタを選択し、[印刷]をクリックします。

電子メール

Power Save レポートを電子メールで送信するには、レポートを右クリックして、[レポートの電子メール送信]を選択します。Power Save レポートが添付された状態で、デフォルトの電子メールクライアントが起動します。

Faronics に送信

システム稼働レポートは、Faronics に送信機能を使って、Faronics テクニカルサポートに送信 できます。この機能により、Power Save、Faronics Core、Windows で生成されたイベントを Faronics テクニカルサポートに送信できます。

コンソールツリーペインで、レポートを右クリックし、[Faronics に送信]を選択します。次の フィールドに値を指定して、[送信]をクリックします。

- 名前
- 電子メールアドレス
- チケット番号
- 電話番号
- コメント

62 Power Save $\lor \vec{x} - \lor$





コマンドラインコントロール

本章では、Power Save を管理するために利用できるコマンドラインオプションについて説明します。

トピック

コマンドラインコントロール コマンドラインエラー



コマンドラインコントロール

Power Save のコマンドラインコントロールにより、他社製の管理ツールおよび中央管理ソ リューションを使った Power Save のコントロールが可能になるため、ネットワーク管理者は Power Save クライアントの管理をより自在に行うことができます。次のコマンドがあります。

機能	コマンド
モード (フル または Audit Only)	[path]PowerSaveConfig /NoGui /Mode=full auditOnly
Windows 電源 オプションの許 可または上書き	[path]PowerSaveConfig /NoGui /WindowsPowerOptions=allow override
使用法と構文の 表示	[path]PowerSaveConfig /? [path]PowerSaveConfig /Help
Power Save バージョンの 表示	[path]PowerSaveConfig /NoGui /v [path]PowerSaveConfig /NoGui /Version
パスワード保護 設定への アクセス	[path]PowerSaveConfig /NoGui /Password= <password></password>

[入力オプション] <入力必須>

[path]: Power Save 実行可能ファイルの場所

<xmlConfigFile>:Power Save で作成された構成ファイル

コマンドラインの例:

[path]PowerSaveConfig /NoGui /Version

上記の例では、Power Save バージョンが表示されます。

コマンドラインパラメータを使用したインストール

次のコマンドラインパラメータを使って、ワークステーションに Power Save をインストールまたはアップグレードすることができます。

32ビットのオペレーティングシステムで Power Save をインストールする場合: msiexec /q /i [path] PowerSave_Ent_32-bit.msi

64ビットのオペレーティングシステムで Power Save をインストールする場合: msiexec /q /i [path] PowerSave_Ent_64-bit.msi

[path]:Power Save 実行可能ファイルの場所

コマンドラインエラー



コマンドラインには次の固有のエラーコードが表示されます。

エラー	説明
0	成功
1	ライセンスの有効期限切れ
2	認識できないコマンド
3	無効なパラメータ (パラメータが Power Save によって認識されない場合)
4	現在の状態では操作できない
5	ファイルが見つからない
6	ファイルパーミションエラー
7	認識できないファイル形式
8	矛盾する構成設定





Power Save のアンインストール

トピック

[プログラムの追加と削除] を使った Power Save Loadin のアンインストール Core Console を使ったワークステーションでの Power Save のアンインストール アンインストールウィザードを使ったワークステーション上でのアンインストール

<u>A</u>

[プログラムの追加と削除] を使った Power Save Loadin のアンインストール

[プログラムの追加と削除]を使って、Power Save をアンインストールできます。そのために は、[スタート]>[コントロールパネル]>[プログラムの追加と削除]>[Faronics Power Save Loadin]>[削除]を選択します。

Core Server から **Power Save Loadin** をアンインストールすると、そのコンピュータの **Core Server** と **Core Console** から **Power Save Loadin** が削除されます。すべての **Power Save** 管理機能 は、**Core Server** から削除されます。

同じ1つの Core Server に複数の Core Console が接続されている場合、Power Save は複数の Core Console から自動的にアンインストールされません。Power Save Loadin とともに Core Console がインストールされている各コンピュータから手動でアンインストールします。

Power Save は個々のワークステーションから自動的にアンインストールされません。ワークステーションごとに手動でアンインストールします。



Core Console を使ったワークステーションでの Power Save のアンインス

トール

Power Save は、Core Console を使ってワークステーションから削除できます。Power Save をア ンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1. Core Console を開きます。
- 2. コンソールの左側のペインで[ワークステーション]アイコンをクリックします。
- 3. Power Save を削除するワークステーションを右クリックします。
- 4. [ワークステーションの構成]>[詳細]>[Power Save クライアントをアンインストール]を クリックします。



アンインストールウィザードを使ったワークステーション上でのアンインストール

Power Save Loadin をインストールすると、ワークステーションインストーラファイルは、 C:\Program Files\Faronics\Faronics Core 3\Loadins\Power Save\Workstation Installer ディレ クトリに展開されます。



インストール中に[ワークステーションパスワード保護の有効化]オプションを 選択した場合、Power Save のアンインストールでも同じパスワードを指定しま す。

Power Save をアンインストールするには、32 ビットのオペレーティングシステムの場合は、 PowerSave_Ent_32-bit.msi を、64 ビットのオペレーティングシステムの場合は、 PowerSave_Ent_64-bit.msi をダブルクリックします。

セットアップウィザードが表示されます。

1. [次へ]をクリックして、アンインストールを開始します。



2. [削除]をクリックします。





3. [削除]をクリックします。



4. アンインストールが終了したら、[完了]をクリックします。





コマンドラインを使ったワークステーションでの Power Save のアンインス

トール

次のコマンドラインパラメータを使って、ワークステーション上の Power Save をアンインス トールできます。

32ビットのオペレーティングシステムで Power Save をアンインストールする場合: msiexec /q /x [path] PowerSave_Ent_32-bit.msi

64ビットのオペレーティングシステムで Power Save をアンインストールする場合: msiexec /q /x [path] PowerSave_Ent_64-bit.msi

[path]:Power Save 実行可能ファイルの場所



インストール中に[ワークステーションパスワード保護の有効化]オプションを 選択した場合、Power Save のアンインストールでも同じパスワードを指定しま す。


